

環境リスクへの対応

ムラタでは、万一の事故発生の際にも周辺への影響を回避するための設備対策を進めています。

環境リスクへの対応

ムラタの事業活動のなかで想定される環境リスクを可能な限り低減していくため、万一、事故が発生した場合にも、周辺への影響を回避する設備的な対応を進めています。とくに影響の規模や期間を考慮し、化学物質の貯蔵や事業所内移送に関連する設備について次のような4つの自主基準を定めて対策を実施し、2002年度中に完了しました。

地下浸透防止対策費用

(単位：百万円)

1995～2002年度の実績累計	
単体	連結
1,004	2,355

地下埋設タンクの原則禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液の貯蔵タンク及び排水処理の原水槽は、地上化を原則とする。法規制等によりやむを得ず地下に設置する場合には必ず二重化する。

タンク地上化の例



(村田製作所 野洲事業所)

浸透防止塗装

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液及び廃液の取り扱い場所は、浸透防止塗装もしくはステンレス製の受け皿を設置する。

浸透防止塗装の例



(Murata Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.)

地下埋設配管の禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液及び工程排水の移送配管は架空とする。

架空配管の例



(富山村田製作所)

緊急遮断装置

タンクローリーなどによる新液受け入れや廃液引き抜きの作業場所は、事故発生時の敷地外への漏洩を遮断できる構造とする。

緊急遮断装置の例



(氷見村田製作所)

産業廃棄物の処分状況の定期確認

ムラタの各事業所・子会社では、発生する産業廃棄物を、法的な許可を有する専門業者に委託していますが、環境に二次的な影響を与えない適正な処分を継続するために、定期的に処分場を訪問し、適正な処分が実施できていることを確認しています。

